

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/08/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢の不透明感で80ドル台前半

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半まで切り返す展開になった。改めて米国とイランの対立激化が警戒され、供給不安の織り込みで底堅く推移した。ホルムズ海峡開放の見通しが立たず、8月5日の74.24ドルをボトムに切り返している。イエメン武装組織フーシ派がサウジアラビアの石油施設を攻撃していることも、原油相場を押し上げた。しかし、8月12日に発表された国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報で2026年の世界石油需要見通しが引き下げられたことを受け、上値を抑えられ、80ドル台では伸び悩む展開になった。

ホルムズ海峡は事実上の封鎖状態にある。イランとオマーンが同海峡の航路設定で合意したが、イランは海峡の開放は別問題との立場を崩していない。イランは海峡開放の条件として、米国とイスラエルに対して戦時賠償を求める方針を示した。一方、トランプ米大統領は逆にイランに対して賠償を求める方針を示しており、米国とイランが合意に達する見通しは立っていない。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月7日時点）は、原油が前週比1,742万バレル増、ガソリンが97万バレル減、石油精製品が1万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

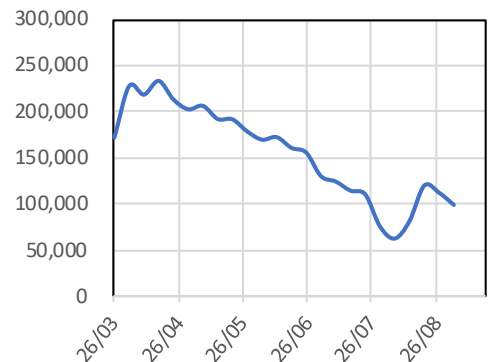
中東情勢で揺れ動く、米国とイランの対立激化だと底堅い

中東情勢に強く左右される地合が続く。イランとオマーンがホルムズ海峡の航路設定で合意したことは大きな前進だが、同海峡が開放される見通しは立っていない。イランはホルムズ海峡の支配権を主張し続けているが、米国は自由航行を主張しており、両国の歩み寄りがみられるか否かが焦点になる。トランプ米政権は8月14日、前例のない経済措置を準備していることを明らかにした。新たに強力な経済制裁などが発表され、米国とイランの対立が一段と激化すると、供給不安の織り込みで90ドルに迫る可能性もある。ホルムズ海峡が開放される見通しが立つまでは、瞬間的な急伸リスクを抱えた地合が想定される。

一方、原油相場は乱高下を繰り返しつつも、徐々に値位置が切り下がってきている。今後、改めて大規模な軍事衝突が発生し、供給不足が深刻化するとの見方には、懐疑的な見方も根強いことが窺える。国際エネルギー機関（IEA）月報では、7～9月期には日量180万バレルの供給不足が発生するものの、年末までには供給過剰に転じるとの見通しが示されている。また、IEAは2026年の世界石油需要が前年比で日量160万バレル減少するとの見通しも示している。前月から需要見通しを日量51万バレル引き下げており、「供給ショック」を「需要ショック」が相殺することで、原油相場の上昇余地は限定されよう。

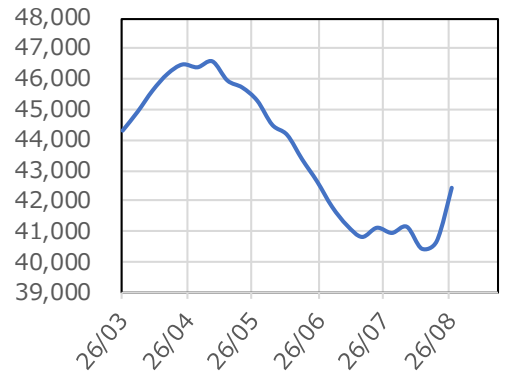
もちろん、ホルムズ海峡が開放される可能性を高める動きがみられると、70ドル台中盤まで下落する可能性もある。短期的には実現可能性は低いが、パキスタンなど仲介国の調整に成果がみられ、米国とイランから前向きな声明などが出されると、原油相場は戻りを売られる可能性が高まる。中東情勢に一喜一憂する展開が続く見通しだ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



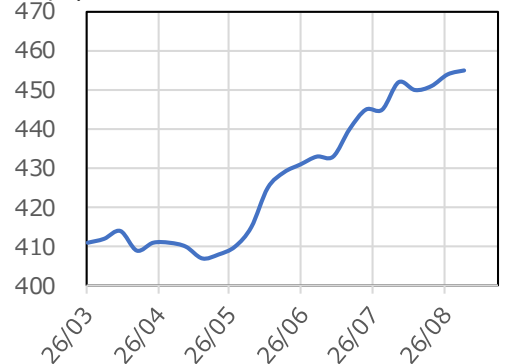
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

